

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年1月) あなたの山はもっと楽しくなる

●年齢を重ねると、若い時と同じようにはいきません。「バランスが悪くなった」「夜行バスがつらい」「下りで足がガクガクする」

でも、そうした欠点を見つけられたらチャンスです。何事も具体的な弱点を見つけなければ対策が立てられません。ですから山でも自分の弱みがわかったら、解決方法を考えればよいのです。「バランスを鍛えるビデオを見て練習しよう」「早朝出発日の前夜は登山口近く泊まろう」「長い斜面は登りに使おう」ひとつひとつに対応策を講じることが事故を防止します。

●若い世代の登山への関心が高まっています。国の調査では、2018年と2008年を比較した場合、過去1年間に登山・ハイキングをした人は15～19歳で8.4%増、20～24歳は25.0%増、25～29歳は6.5%増となっています。また高校山岳クラブ(山岳部、ワングル部、ハイキング部)では10年前と比較して、平均で部員数が10%以上増えています。

いっぽうで山岳クラブじたいは少しずつ縮小傾向にあります。「顧問のなり手が無い」「事故の危険」などが理由のようです。

●現場職人向け作業着などを販売する「ワークオン」。最近、アウトドアやスポーツ、レインウェアに特化した店舗「ワークオンプラス」を出店させ、人気を呼んでいます。「高機能なのに低価格、そこそこおしゃれ」ということで、客層は30～40代が多く男女半々。火花に対応する溶接用ウェアを焚き火のために買っていくキャンパーも多いそうです。

●1ヶ月かけて行った河童橋の橋脚をささえるワイヤーの塗装工事が終了しました。前よりやや白味が強いようです。次に行った時、じっくり観察してみましょう。

●気を付けなくてはならない人シリーズ

その②「なんでも知っている」という人

「私は〇〇山のことなら、なんでも知っている」なんて自慢する人には注意が必要です。そもそも第三者が、ベテラン小屋番さんや地域のガイドさんに対して尊敬を込めて発する言葉が「なんでも知っている人」であって、自分で自分に言うことではありません。じっさい大ベテランほど謙虚なもので「長年やっても、日ごとにあらたな発見があり、自分などまだまだです。」と研鑽を重ねています。

目白山岳会 登山のヒント集(2020年2月) あなたの山はもっと楽しくなる

●昨年12月、蝶ヶ岳ヒュッテ二代目オーナー神谷圭子さんが亡くなりました。(享年56歳) 神小屋経営に女性が携わることの少なかった30年前、父親の死により小屋を継ぎました。その後の開設、個室の設置、みやげものや食事の改善など、さまざまな改革に取り組み、その姿は「老性小屋番の奮闘！」としてマスコミにも取り上げられました。ご冥福をお祈りします。

●気を付けなくてはならない人シリーズ その③「昔話の多い人」
「昔は登山靴で岩でも沢でも登ったものだ」「昔は夜行電車を降りたら一睡もしないで、そのままのだ」「昔は装備が重くて40キロを背負ったんだ」
時代を共有した仲間うちの昔話ならかまいませんが、その時代を知らない人に歴史語りするのはしか聞こえません。
それよりも、若い時代の激しい経験を、今の登山にどう生かしているのか語るほうが、建設的で

●暖かく比較的安価な下着「ユウクロ・ヒートテック」。でも、山で使うには少し注意が必要です。の多い登山の下着には、大量の汗を素早く放出する速乾機能が必須です。でも「ヒートテック」で街着。汗がこもってしまい、濡れて冷たくなる事例も見受けられます。ですから登山の下着は、でも専門品を買うのが安心です。ただし発汗の少ないウォーキングや小屋着にするのであれば問せん。

●中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイは現在運休止、上部の千畳敷ホテルも休業しています。支柱変形、修繕が必要になったのが理由ですが、冬季工事のため復旧のめどは立っていません。

●目のつんだニット帽は、雪降りの中でも帽子に粒がつきにくく、手で払えばサラサラと落ちていて、編み毛糸のざっくりした帽子は、氷雪がつくとどンドン固まり、樹氷のようになってしまう時があり、調するならば、細毛糸のスムーズな編地をおすすめします。

●温暖化の影響でしょうか、桜をはじめ今年のお花の開花予想は、軒並み平年より2週間ほどあります。花見ハイクを計画している人は、いつもより前倒したほうが良さそうです。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年3月) あなたの山はもっと楽しくなる

●スポーツクライミングがオリンピック種目になってから、室内壁の人気は高まるばかりです。2000年頃 数十軒だったジム数は、2000年代後半には100軒となり、現在は500軒に迫る勢いです。

さまざまなメディアに登場する機会も増え、西〇デパートの冬物バーゲンポスターに描かれたり、テレビドラマ「シ〇でもク〇でもない世界でパンダは笑う」では、クライミング中にロープが切れ、その犯人を追うストーリーが展開されました。

●欧米で「スカイランニング」が人気を呼んでいます。同じ山でも「トレールランニング」が、どちらかと言えば水平方向に移動する競技なのに対し、「スカイランニング」は、急峻や山を駆け登り、駆け下るレースです。日本でも2013年、スカイランニング協会が設立され、少しずつ競技人口が増えていましたが、ついに2019年度、日本人男性がワールドカップチャンピオンに輝きました。

下りが得意な欧米人とは反対に、日本人選手の場合、登りで引き離し、そのまま逃げ切るタイプが多いそうです。

●知人友人を山に案内する時は注意が必要です。「自分の体力や技術なんてごく普通だから、ふだん行っている山なら誰を連れて行っても大丈夫だろう・・・」なんて思ったら大間違い。まったくの未経験者は、少しの登りでもヒューヒューふうふう、下りは下りで足がきかず、あわや滑落・・・ということもめずらしくありません。逆にいえば、一般ハイキングや登山といえども、何年も継続している人は、それだけで立派なスキルの持ち主なのです。

●3000m峰が268座ある台湾は、自国の山を世界に知ってもらおうと2020年を「山岳観光年」に設定しました。台湾というと「玉山」が有名ですが、ハードな登山ばかりではなく、都市近郊のハイキングから、草原のトレッキング、渓谷道歩きなど幅広くアピール。日本のツアー会社も台湾登山を特集した専門パンフレットを用意しました。

●スポーツ人口の減少や、暖冬によるスキーやボードの売り上げ減少がつづく、スポーツショップのアルオン。販売の舵を「アウトドアスポーツ」に向けてきました。キャンプ用品、アウトドア用品の店を東京のほか、京都、香川、福岡などに展開中。いずれの店も超大型店で、オートキャンプ用テントがいくつも張られ、扱いブランドも100を越す大きさです。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年4月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●温暖化による氷河縮小、大混雑する登山ルート、ゴミ問題。さまざまなトラブルをかかえるヨーロッパの最高峰モンブラン。政府は問題を解決するために、昨年度は夏山登山者に指定山小屋の予約を強制、入山者を1日約200人に制限しました。しかし違反者が続出し解決には至らず、2020年度はより厳しい規制をかける予定となりました。

●スーパーなどで買った衣服が山で使えるか大雑把に調べる方法です。下着なら下着、フリースならフリース、山道具店で買ったものとスーパーで手に入れた同種衣類を一緒に洗濯して干しておきます。もしほぼ同じ時間で乾いたなら、そのスーパー服は登山でまあまあ大丈夫だと考えられます。

●新潟県と通信王手KDDIが、遭難者のスマートフォンが「圏外」の場合でも、場所を特定したり通話できたりする新しい捜索方法の実証実験に入りました。県の防災ヘリに基地局を乗せて電波を発信します。これにより、ヘリから最大2キロの範囲での通話を可能にし、さらにスマホの微弱電波を基地局が捉え、誤差10m以内での位置特定するのが第一の目標です。【島崎さんからの情報です】

●西武鉄道が3月にダイヤ改正を行いました。登山者にとって大きな変更点は、寄居・三峰口行き電車の始発駅が「池袋」ではなく「飯能」になったことです。もう以前のように池袋から直通で秩父鉄道の駅に降り立つことはできず、飯能で乗り換えなくてはなりません。私たちの立場からは「ダイヤ改悪」とも言えましょう。

●東武線・小川町郊外に「武蔵ワイナリー」が誕生しました。無農薬ぶどうと天然酵母だけを材料にした「完全無農薬ワイン」がウリで、ワイナリーで使う電力も自家発電という徹底ぶりです。小川町駅近くにも販売所があり、土日は12時から角打ちタイムが始まりますので、山の帰りも楽しめますね。

●シルクの下着は夏涼しく、冬は暖かい。その上肌触りがよいので、愛用者がかなりいます。欠点は価格が高いこと。買うにはちょっと勇気のいる商品でもあります。それでもシルク下着を着てみたい、プレゼントしたい、という場合はモobel社のものがおすすめです。男性用半袖Tシャツタイプ7300円(税抜)、女性用タンクトップ5800円(税抜)で、値段もまあまあこなれています。

※耐久性を考え、シルク90% ナイロン10%です。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年5月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●新型コロナの影響がまだ少なかった冬時期、「密閉」「密集」「密接」が比較的避けられる「ソロキャンプ」に人気が集まっていました。1人でテントを張り、ゆっくりとコーヒーを飲みながら自然に対峙する・・・従来は少なかったスタイルですが、1～3月のキャンプ場予約は例年の3倍になったそうです。山岳雑誌「ビーパル」と「岳人」も4月号に特集記事を組んでいました。

そのキャンプ場や自然公園なども、緊急事態宣言後は次々閉鎖され、5月初旬現在、再開の見通しは立っていません。

●登山ができない現在、ふだん怠りがちな道具や靴の手入れ、ウエア類の綻びのチェック、山岳書物の片づけ、写真の整理など、断捨離に取り組んでみましょう。時間はたっぷりあります。

●マッターホルンを有するスイス・ツェルマットの街は、その山岳岩壁に、各国の国旗や「hope」「stay home」などのメッセージ映像を映し出すことで、世界にエールを送っています。日の丸も4月15日に大きく照らし出されました。

●4月25日現在、各登山用品店の営業状況です。

※カモシカスポーツ

本店：5/6まで休業 横浜店、松本店：5/6まで時短営業、一部土日休業

※石井スポーツ

営業内容縮小の上で時短営業、一部店舗休業

※好日山荘

時短営業、一部店舗休業、土日・ゴールデンウィークは休業店舗も

※さかいやスポーツ

時短営業、4/27～5/6完全休業

※ゴロー(靴)

時短営業の上、完全予約制

※キャラバン(棠鴨)

5/1～6休業

※パタゴニア

3/18より全店休業中

※ノースフェイス、ミレー、ホグロフスなどメーカー直営店

全店休業中

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年6月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●2020年度年間休業を決めた山小屋です。(5月28日現在)

※南アルプス／北岳山荘 広河原山荘 両俣小屋 御池小屋 長衛小屋 北沢峠
こもれび山荘 仙丈小屋 馬ノ背ヒュッテ 千枚小屋 荒川小屋 赤石小屋 小
河内避難小屋 中岳避難小屋 赤石岳避難小屋 熊ノ平小屋 百間洞山の家 高
山裏避難小屋 榎島ロッジ 茶臼小屋 聖平小屋 横窪沢小屋 光小屋 ※北ア
ルプス／新越山荘 内蔵助山荘 朝日小屋 中ア／西駒山荘 ※八ヶ岳／赤岳頂
上小屋 キレット小屋 権現小屋 赤岳鉱泉(11/末まで) ※富士山／すべての
小屋 ※尾瀬／尾瀬小屋

●多くの山小屋で、例年通りの営業ができない状況が続いています。そんな中
いくつかの団体が、クラウドファンディングで小屋の経済疲弊を援助しようとい
う運動をはじめました。いっぽうで「山関係者に支援金を」という要望書を政府
に出した組織もあります。何としても多くの力で山小屋を守りたいものです。

●「遭難」と「感染防止を踏まえた」新しい登山文化の構築が模索されています。
前例のない事態であり、各山域の特質なども違いますが、それでも各方面からい
くつかの案が発表されています。

・自家用車を使用 ・人の少ない山やコースを選ぶ ・4自治体が登下山コース
を分ける ・移動の少ない近郊の山を選ぶ ・ジッパー付きのビニール袋を2重
にしてゴミは持ち帰る ・手洗いでできない場所では除菌ティッシュやアルコール
ジェルの持参 ・1人用テントで行く ・1個室1グループ ・山小屋泊ではシ
ュラフやマットを持参 など・・・

労山HPのインフォメーションコーナーにも山岳4団体の指針が出ています。
これらを参考に、みんなで意見交換をしてみましょう。

●トゲトゲした雰囲気蔓延する中で、カナダは国立公園閉鎖をふまえて一つの
提言をしています。

- ・前提として自治体が出している情報に従い、外出(登山)を控える場合もある。
- ・自分にやさしくすること。空き時間を有効に使おうというのは、不安が前提と
なっている今の自分を追い込んでしまいます。のんびりいきましょう。
- ・他人が登山に行ったとしても、そのことに対して意見、批判を控えること。自
分の意見はもってもよいですが、他人に発言する時は慎重に。
- ・自分が山に行ったことをSNS等に投稿するのは控えること。自粛している人
の心を乱す可能性があります。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年7月) あなたの山はもっと楽しくなる

●「下山してから遭難した」こんな事例が労山で報告されました。

登山を終え、駐車場についてからグループの1人が行方不明になり、警察も出動する騒ぎの未発見されました。もともと認知症の傾向があったのですが、会員の高齢化が進む今、こうした問題にも取り組んでいかなければならない時代がきたのでしょうか。

高齢者の事故数は全国的に増え続けています。2017年以降、年齢別事故件数は70代が最多となりました。【島崎さんから情報をいただきました】

●「つまらない山はない。その山をつまらなく感じる自分がいるだけ」

という言葉があります。

登山を始めた頃と今の自分を比較すると、若い時は「とにかく山頂 only」だったのが、次第に「登山の過程を大切にしたい気持ちが強くなった」と感じる人が多いようです。なにげない植物や石、鳥の鳴き声など、興味の範囲が年を重ねることで、徐々に広がっていくからでしょう。昔は印象の薄かった山もあらためて登ると、まるで別の山のようにすばらしさが見えてくるのです。

●先日、ひとりの釣り師が登山者を救助したことで表彰されました。

奥秩父で道迷いした登山者が足を滑らせて谷底へ転落。動けなくなって数日がたち絶体絶命のピンチの時に、その釣り師が偶然そばを通りがかりました。持っていた食料を与えた後、全力で尾根に登り上がり、携帯で救助を要請。登山者は九死に一生を得たとのこと。とにかく「釣り師」と「登山者＝沢ヤ」はトラブルになりがちな間柄ですが、たまにはこんな例もあるのでしょうか。

●2019年度山岳遭難は前年に比べて減少しました。発生件数 2531 件(前年比-130)、遭難者 2937 人(-192)、死者・不明者 299 人(-43 人)、負傷者は 1189 人(-12 人)。死者・行方不明者のうち 206 人が 60 歳以上でした。減少は相次いだ台風や天候不良により、入山者数じたいが少なかったのが大きな理由です。原因 1 位は「道迷い」で「転落」「滑落」が続きます。都道府県別では 1 位長野県、次いで北海道、山梨県となっています。(日経新聞 6 月より)

●富山ファミリーパークは、ニホンライチョウが卵 1 個を産んだと発表しました。これでパークの産卵確認は 4 年連続です。昨年はふ化に成功した 8 羽のうち 3 羽が母鳥につつかれて死んだため、残りを人の手で育てました。今年は成鳥になるまで、母親が育てることを目標とし、慎重に観察・飼育をすすめるとのこと。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年8月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●コロナの影響で、登山用品店の多くが休業や時短を余儀なくされました。それが理由のひとつでしょう。現在、春～夏物衣類が例年よりもずっと値引きされ、バーゲンになっています。欲しいもののある人は、お店に寄ってみましょう。(最近「密」を避けるため、案内ハガキを送らずバーゲンすることがありますので、注意が必要です)

●今年のゴールデンウィーク登山のアンケートです。「山へ行かなかった」が71.5%「近場の山に行った」は27.3%「遠出登山を実行」が1.2%、という結果となり、多くの登山者が行動を自粛し、感染予防に努めたことがわかりました。どうしても“登山の虫”が抑えられなかった人の対策としては「マスクをして人のいないルートや山を選ぶ」「短時間行動」「自宅から車で30分以内の里山」「寄り道は無し」「トイレも使わずにすむ距離や時間」が挙げられています。

【web サライより】

●ドタキャンを連絡された場合、山行企画者はさまざまな手配に追われる場合があります。タクシーや反省会会場を予約していたら、人数変更の連絡やキャンセル料の確認。宿泊を伴う場合では1部屋の人数が変わることで、1人あたりの代金に変更される時もあります。自炊の場合は、余った食材代は誰が引き受けるのでしょうか？

ドタキャンはお互い様で、仕方のない面もありますが、その後の処理をしてくれた人への心遣いを忘れないようにしましょう。

●今年の夏、富士山は登山禁止ですが、5合目までの対応は、静岡県側と山梨県側で、判断が分かれました。

静岡県側は富士宮口、御殿場口、須走口それぞれの5合目に至る道をすべて閉鎖しました。「5合目まで行かれると、山頂を目指す登山者がくる可能性がある」という考えです。

対する山梨県側の吉田口は、スバルラインが5合目まで開通しています。車両台数や滞在者数、滞在時間などをきびしく設定し「密」を避ける方針です。頂上に通じる登山道にはバリケードを二重に張り、監視員を常駐させています。

分かれた対応、どんな結果となるのでしょうか。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年9月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●これから先も安全登山を続けるために、少し強めのトレーニングも取り入れてみましょう。目標は年齢マイナス1割引き。例えば70歳の人ならば、63歳の時に行った山行を思い出し、それに対応できる体を作るのが目標です。やった人とやらない人、年齢の高い人が年下より強くなる「下剋上」が年を重ねるごとに際立ってきます。

●ズボンを購入し、丈詰めをする時、長さに迷う人は多いものです。店員さんは「お好みで大丈夫」と言いますが、なんとなく不安。そんな時の目安です。太ももから足首までストンと落ちるやや幅広のストレートタイプは登山靴を履いた時、足の甲に少しかかるくらい。足首に向かうほど細くなるデザインのズボンは甲にかからないようにやや短め。裾幅が広いほど長めにするのがスタンダードです。慎重にやりたい人は自分の靴を持参して決めましょう。

●ザックの中で装備を分けて収納するスタッフバッグ。買う時はなるべく明るい色を選ぶこと、さらに複数枚購入する時は、全色違う色にすることをお勧めします。というのも、ザックの中は案外暗く、黒や紺色だとわかりづらい。また、救急用品は黄色、防寒具は水色・・・など色分けしたほうが、間違いなく1回で取り出せるからです。

●今年は、営業日を短縮したり、休業したりする山小屋が相次いでいますが、これを逆手にとった犯罪も増えています。富士山の佐藤小屋は、建物を壊された上、釣り銭が紛失しました。

「休業イコール不在」と考えた窃盗犯が、建物内で作業していた小屋番さんと鉢合わせ！という恐ろしいケースも出ています。

●コロナ禍の現在、山林や島を購入する人が増えています。自分好みに整地してテントを張って過ごす人、カフェやコテージを作ろうとする人など様々で、山林や無人島売買仲介サイトは大盛況となっています。これもまた新しい生活スタイルのひとつと言えるでしょう。

【朝日新聞 8/24 夕刊←島崎さんからの情報です】

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年10月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●数年前、屋久島で入山協力金約 6500 万円のうち、3000 万円弱が、関係者によって横領される事件が起きました。長年同じ人物が担当していたため、大事件になるまで気が付かなかったのです。コロナも重なって、その後の協力金納付額は大幅減。環境整備などに支障をきたしています。

●ちょっとした切り傷や靴擦れに使うバンドエイド。(←商品名ですが、わかりやすいようにこう言います) お店に行くと様々な価格帯があります。

数種類を調べたところ、やはり機能は「値段なり」でした。少し値の張る商品は水濡れや摩擦に強く、はがれにくくなっています。山では簡単に張替えはできませんから、救急用品としては、ある程度の品を選ぶのが良いでしょう。

モイストヒーリング(患部を湿ったまま密封する傷ケア)タイプは高額ですが、患部の複雑な動きにもずれにくく、張替えをしないことで効果を発揮するテープなので、登山にはおすすめです。

●アメリカでの新たな流行。それは女性登山者が、登り切った山頂でトップレスの写真撮ることです。写真はほぼ後ろ向き。かなり引いたアングルで、両手を万歳した姿で撮るのがお決まりになっています。なんでも「力いっぱい登った後は、ばかばかしいほどの解放感にひたり、心身を祝うため」が理由のようですが、日本人には今ひとつピンときません。

●土合駅の駅務室を改装し、駅舎の雰囲気を残したカフェ「mogura」が 8 月にオープンしました。名前の由来は地下深くに位置するホームからの連想です。夏休みの間はかなりの賑わいを見せましたが、実はこのカフェは一期工事。最終的には無人駅グランピング施設「DOAI VILLAGE」が開業する予定です。

2019年、グリーンランドの氷床が約 5300 億トン融解し、海に流出したことを、ドイツなどの海洋研究グループが発表しました。2003 年～2018 年の平均融解は 2350 億トンですが、2019 年になると同じ量が 7 月 1 ヶ月間だけで溶け出しており、状態の深刻さが数字にあらわれています。

仮にグリーンランドの氷すべてが融解すると、海面は約 7 メートル上昇するとみられ、環境への影響は計り知れないものがあるそうです。

【島崎さんからいただいた新聞情報です】

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年11月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●時には「できないことリスト」を作ってみましょう。「夜行バスを使った登山はもうできない」「1日はよくても、2日連続7時間以上の歩行はしない」「ロープを使う登山はやらない」など、自分の心身と対話してみましょう。

これが終わったら、次は「これからやってみたいリスト」を作ります。「登山後には地元名物を食べ、ゆっくり温泉に」「歴史にちなんだ街道や城跡めぐりをしたい」「ゆっくり山の写真を撮りたい」

このふたつのリストをコラボしてみると、今後のあなたのすすむべき道が見出せるでしょう。

●各山小屋のコロナ対策です。玄関、食堂、各部屋のアルコール消毒。シーツや枕カバーは毎日交換してクリーニング店に出す。食堂テーブルの中央に透明アクリル板を設置。大部屋をベニヤ板で区切り、臨時の個室に改装。一緒盛りの食事をやめて、完全個別配膳。経費は増えて、収入がどんどん減っていく事態となっていますが、そのおかげで小屋でのクラスターはまだ報告されていません。

【島崎さんからの新聞情報です】

●山と溪谷社が運営する登山サイト「ヤマケイオンライン」からの個人情報流出が判明しました。同社はすぐにセキュリティー機能を強化、具体的な被害はまだ出ていませんが、デジタル化が進むと便利な反面、様々な弊害が出てくるものです。

●今年の夏山シーズン（7/1～8/31）、富士山の遭難事故はゼロでした。遭難が無かったのは1990年以来、30年ぶりのことです。例年だと50件ほどの事故が発生するのですが、今年の登山口閉鎖に伴い、入り込もうとする人もほとんどいなかったようです。

●なぜ私たちは山に登るのでしょうか？「達成感を味わいたいから」「非日常を体験したいから」「仲間との語りを楽しみたいから」などいろいろですが、多くの人に共通するのが「美しい景色に出会いたい」という思いです。

人は美しいものに触れると「ああ、きれい」と心があたためられ、感動します。感動は免疫力を高め、気持ちを前向きにします。

とかく暗い話題とピリピリした空気が漂うコロナ期、山に行くと心にたっぷり栄養を与えることが、有意義なのです。

目白山岳会 登山のヒント集 (2020年12月)

あなたの山はもっと楽しくなる

●ねじりはちまきがトレードマークの災害ボランティア、尾畠春夫さん(81)がこの秋、緑綬褒章を受章しました。(緑はボランティアを意味します)

活動の原点は自宅近くの由布岳(1583m)での環境保全活動。毎年120回程度登り、ベンチや階段を整備し、4ヶ国語の案内板を設置するなど大活躍。登山歴は40年になります。

●御殿場アウトレットが大規模改装をしました。このところの世相を背景に、高級外国ブランドが縮小する一方で、スポーツウエア、特にアウトドア関係はブランド数も増え、売場面積を広げています。

●落石が起きそうな場所では、小さな子供に注意しましょう。子供は、落石を起こさないように歩くのには慣れていませんし、保護者のほうも一歩一歩監視することはできません。一定距離はなれて歩くのが無難でしょう。

●登山前日は山服のボタンをチェックしましょう。取れそうになっていませんか？ シャツの第一ボタンなどがブラブラしているのは見良いものではありませんし、取れそうなボタンのことに始終注意を払うのも面倒。かといって引きちぎって保管すると、それはそれで襟元がおかしなものです。

●今度谷川岳に行くときは、ロープウェイ乗り場の脇にある「谷川岳山岳資料館」を訪ねてみましょう。

周辺山地のジオラマ、高山植物の紹介から、古き時代のピッケルやアイゼン、キスリングやテントが展示されています。さらに登山関係の蔵書は10000冊以上。谷川岳のみならず、日本アルプスやヒマラヤの記録集や写真集、戦前の絶版本、「岳人」「山と溪谷」のバックナンバーなど数十年分を閲覧することができます。

※毎年5月～11月末まで開館。木曜休館。入場無料。

【島崎さんの新聞情報です】

●来年は2021年丑年です。標高2021mは、南アルプス・桧横手山(ひのきよこてやま)。雨畑湖から笹ヶ岳に登る途中にあります。

そして「丑」、「牛」のつく山や峰は、北アルプス・赤牛岳を筆頭に、牛首山、牛ヶ岳、牛伏山など・・・日本全国に数えきれないくらいあります。古くから人間と生活を共にしてきた動物だからでしょう。